**広域型生活支援コーディネーターの主な活動について（令和3年6月～令和3年10月）**

1．市域での高齢者生活支援

①助け愛隊

緊急事態宣言期間／まん延防止等重点措置期間は活動中止。

・作業部会委員主体で助け愛隊ボランティア養成講座開催（6/30）⇒参加者11人（登録：7人）

・助け愛隊登録ボランティア：48人（10/1現在）

②大学生と連携した高齢者生活支援をコーディネート

企画は学生有志チーム。イベント企画の経験がない学生のため、CSWや生活支援コーディネーターがサポートした。交流会では高齢者支援（オンライン講座等）でのボランティア活動を呼びかけた。

・「第1回 学生交流会　～みんなで創ろう！話そう！繋がろう！～」をZOOMで開催（6/25）

・「第2回 学生交流会　～みんなで創ろう！話そう！繋がろう！～」をZOOMで開催（10/15）

2．地域での高齢者生活支援

①高齢者対象のオンライン講座の開催をサポート

オンラインを活用した「つながり作り」「情報取得」「多様な団体との連携」を意識して調整を行った。

・開催：4ヶ所（検討：12ヶ所）

・連携団体：地区福祉委員会、大学生ボランティア、地域包括支援センター、福祉事業所など

②各地域の高齢者生活支援体制の整備をサポート・調整

地域特性や地域課題を検討する「地域での意見交換会」の開催に向けてCSWと連携して調整した。

・五月が丘地区（福祉委員会、大阪大学教員・学生、NPO、地域包括支援センターと高齢者の取組検討）

・山手地区（地域団体や福祉施設等で組織する「山手地区コア会議」でオンライン講座等について検討）

・吹一地区（単一自治会で助け愛隊勉強会に出講）

・東地区（福祉委員会、街かどデイハウス、地域包括支援センターでオンライン講座の検討会）

・青山台地区（福祉委員会、地域包括支援センターとの意見交換会）

・津雲台地区（連合自治会、福祉委員会、大阪大学、薬局、福祉事業所、地域包括支援センターとの意見交換会）

・吹二地区（福祉委員会、地域包括支援センターとの意見交換会）

3．地域ケア会議との連携・連動

・地域ケア会議実務者連携会議（8/19）

・地域ケア会議事務局会議（8/26）

・地域包括支援センターと社協（CSW、生活支援Co）の意見交換会（7/27、8/27、10/7）

　※千里ニュータウン、JR以南、豊津・江坂・南吹田ブロックの地域包括支援センターと実施。

4．その他

・生活支援コーディネーター養成研修（初任者研修）で吹田の取組を報告（7/27）

・すいたの年輪ネット市民フォーラム作業部会（8/6、8/27）

・吹田市高齢者生活サポートリスト「生活支援サービス編」改訂版を発行（9/14）

・生活支援コーディネーター養成研修（全体研修）の企画にかかるヒアリング（10/14）

・令和3年版 厚生労働白書に「大学生・福祉委員会・社会福祉協議会が連携した高齢者との手紙の交流」が掲載（別紙）